

所沢市平和祈念式 市長メッセージ

本日は、「所沢市平和祈念式」にご列席を賜り、心より御礼申し上げます。

私は本日、広島市で開催されております広島平和記念式典に参列しているため、この大切な式に直接立ち会えないことを、ご容赦いただけますと幸いです。

1945年(昭和20年)8月6日、広島市に、そして8月9日、長崎市に、原子爆弾が投下されてから、80年という時を迎えます。

所沢市では、さきの大戦で犠牲となられた全ての方々へ哀悼の意を表しますとともに、市民の皆様が改めて平和を祈念するきっかけとしていただくため、戦後80年という節目となる年に、市として初めて、所沢市平和祈念式を開催することといたしました。

所沢市役所には、1984年(昭和59年)に広島市から譲り受けた「被爆敷石」が設置されております。この敷石は今も、平和の尊さ、戦争の恐ろしさ、そして命の大切さを、静かに私たちに語りかけています。

唯一の戦争被爆国である日本に生きる私たちは、戦争、そして核兵器の恐ろしさと、それがもたらす惨禍を決して忘れることなく、次世代に語り継いでいく責任があります。

同じ悲劇は、二度と繰り返してはならない。その決意と、世界の恒久平和への思いを新たにすため、本日この場所で、黙祷する機会を設けさせていただきました。

所沢市では、平和の尊さを次世代に伝えるため、さまざまな平和推進事業に取り組んでおります。本日のこの式も、お集まりいただきました皆さまお一人おひとりにとって、「平和の大切さ」を見つめ直す時間となりますことを、心より願っております。

最後に、犠牲となられた全ての方々へ、改めて哀悼の意を表しますとともに、戦争も核兵器もない世界が一日も早く実現しますよう、市民の皆様とともに歩みを進めていくことをここに申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2025年(令和7年)8月6日

所沢市長 小野塚 勝俊